

豊かな森づくりと魅力ある林業の構築をめざして

令和元年度版 「富山県森林・林業白書」



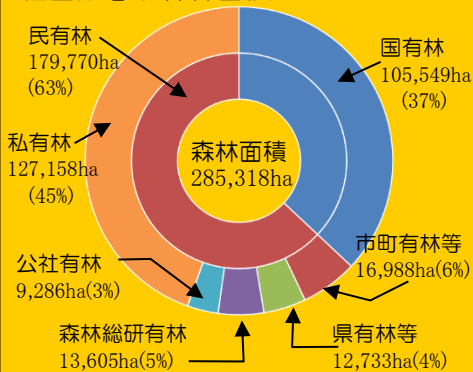
地域住民と森づくりサポーターとの協働による里山林整備〔富山市開ヶ丘〕



県産材を利用した全国初の木造3階建て校舎〔魚津市星の杜小学校〕

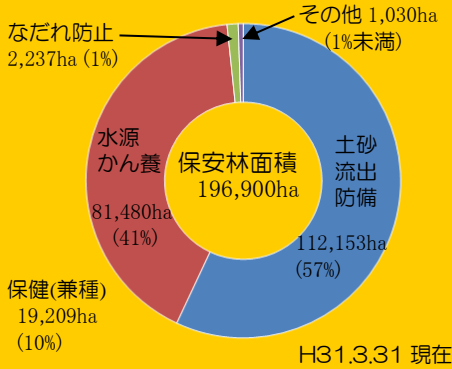
I 富山県の森林・林業の姿

経営形態別森林面積 H30.3.31 現在



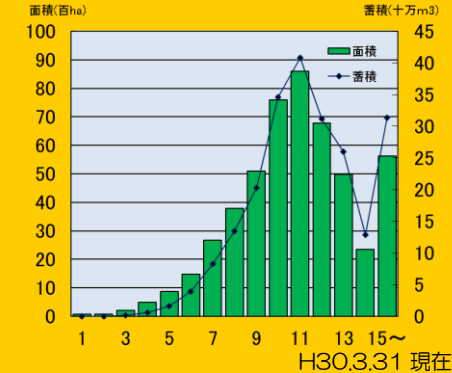
本県の森林面積は約 285 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めています。森林率は全国とほぼ同じ率となっています。

保安林面積

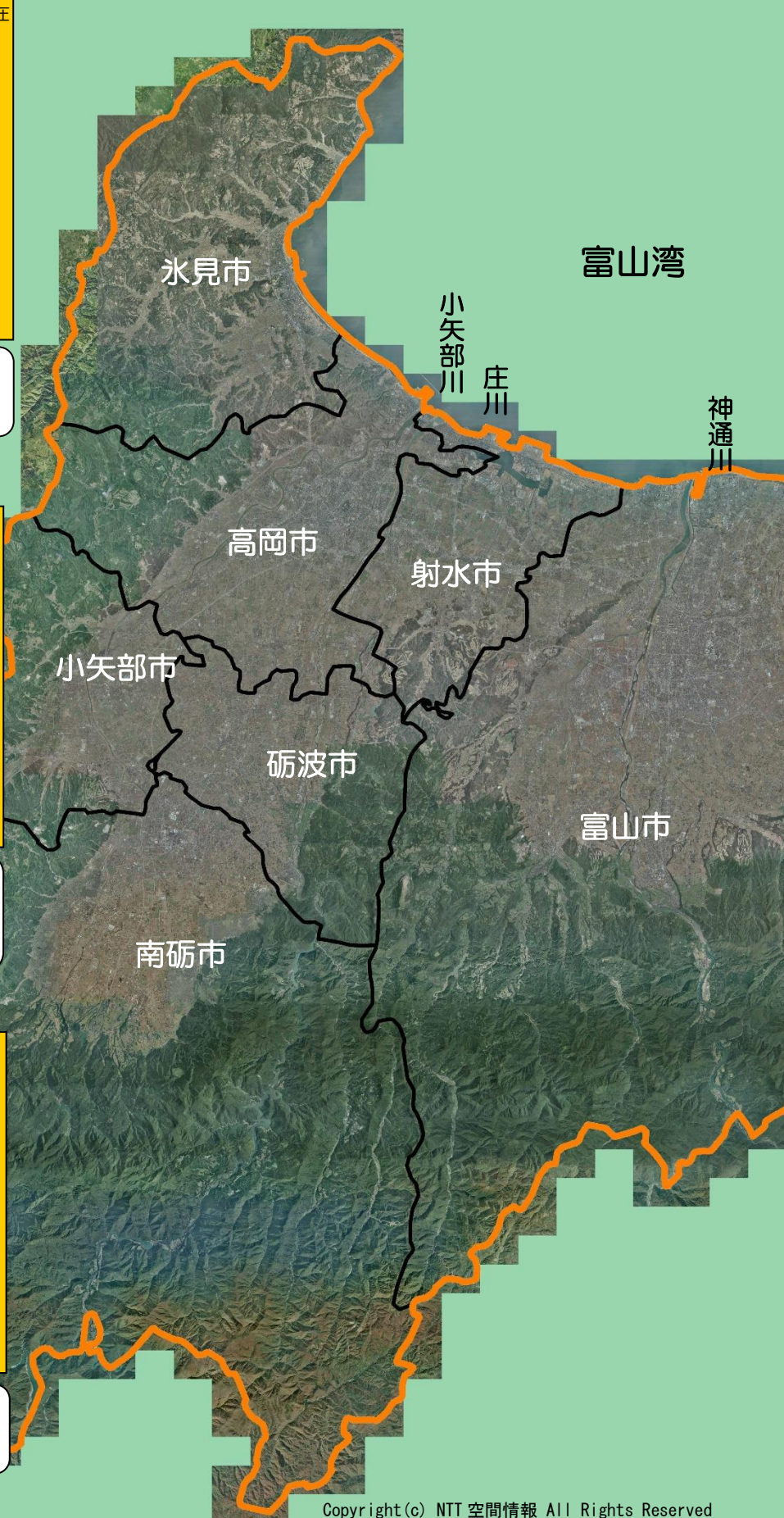


森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を目的によって保安林に指定しています。保安林率は 69.0% で、全国の都道府県で最も高くなっています。

人工林の齢級別面積・蓄積

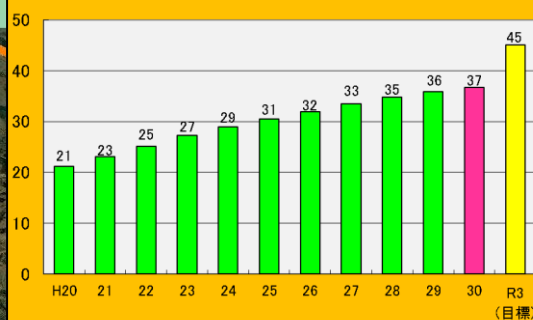


県内の人工林は、木材として利用可能な 9 齢級以上の森林が、面積全体の約 8 割、蓄積全体の約 9 割を占めています。



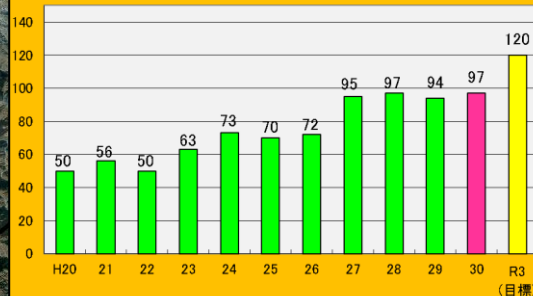


間伐実績累計の推移 (単位:千 ha)



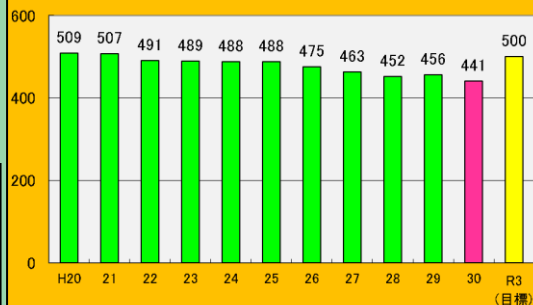
二酸化炭素の吸収源対策としても重要な役割を持つ間伐を毎年 1,800ha 前後実施しています。H30 年度には目標値の 82% となっており、引き続き整備を進めていく必要があります。

県産材生産量の推移 (単位:千 m³)



県内の人工林資源が充実してきたことや、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等を積極的に進めてきたことから、スギを主体に増加傾向にあります。また、利用促進については木造公共施設の整備や県産材を使った住宅建設等の支援を行っています。

林業就業者の推移 (単位:人)



林業就業者は減少傾向にありますが、平均年齢(森林組合)は 60 歳(H5)から 50 歳(H30)と若返っています。また、意欲ある若者の定着につなげるため、H27 から 3 年間実証した冬期林業の成果を活かし、通年雇用化を図り、安定した雇用環境を創出し、定着率を高める取り組みを行っています。

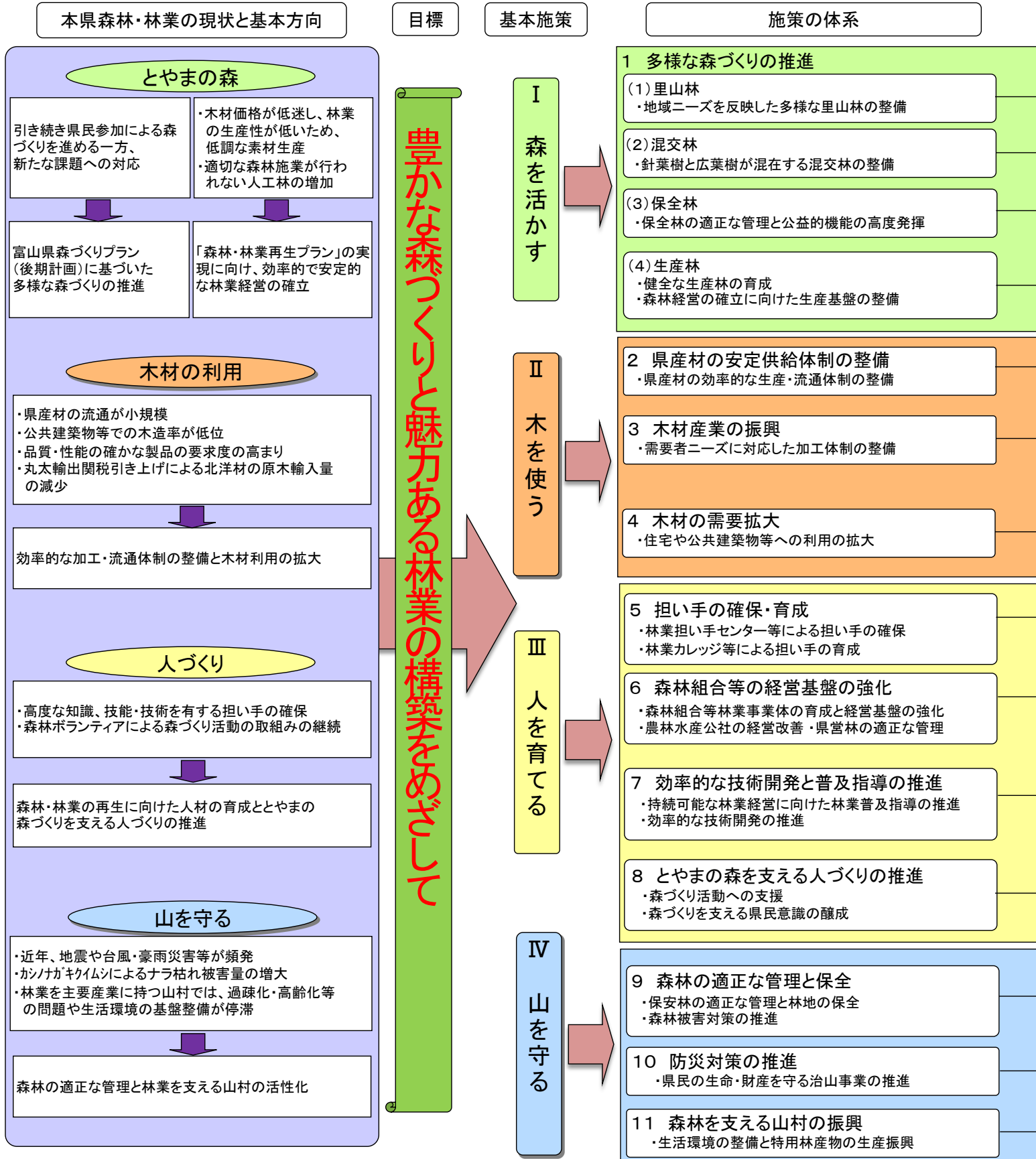
目次

- I 富山県森林・林業の姿 1
- II 富山県森林・林業振興計画〔改訂版〕の概要 3
- III 計画実現のため、平成 30 年度に講じた主な取り組み 5
 - 1 豊かな森づくりに向けた主な施策
 - 2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策
- IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と平成 30 年度実績 15
- V 新たな「富山県森林・林業振興計画」の概要 16
- VI 平成 30 年度の森林・林業に関する主な出来事 17

II 富山県森林・林業振興計画〔改訂版〕の概要

○本計画の位置付け

本計画は県の総合計画である「元気とやま創造計画」の森林・林業・木材産業分野に関する計画として、県森林・林業行政の基本指針になります。



なお、平成30年3月に総合計画が見直しされたことや、関連計画である「富山県森づくりプラン」及び、「県産材の利用促進に関する基本計画」が新たに策定されたことから、平成31年3月に本振興計画を見直しました。
 新たな振興計画の内容については、16ページをご覧ください。

主な取組内容

主な参考指標 H23 ⇒ R3

- 県民協働による里山林の整備の推進
- 地域住民による里山林の維持管理活動の継続への支援
- 過密人工林や風雪被害林の整備
- 竹林が侵入した人工林の整備
- 公益的機能の高度発揮が必要な山地の保全対策
- カシノナガキクイムシ被害跡地の復旧
- 森林経営計画の策定支援と施業集約化の推進
- 森林整備に必要な森林境界の明確化
- 伐採後の森林の適正な更新と花粉発生源対策
- 林道等の路網整備(林道、林業専用道、森林作業道)

- ◎ 里山林の整備面積(累計)
1,296ha ⇒ 3,900ha
- ◎ 混交林の整備面積(累計)
693ha ⇒ 2,100ha
- ◎ 実のなる木の植栽面積(累計)
- ⇒ 100ha
- ◎ 間伐実施面積(累計)
27,302ha ⇒ 45,000ha
- ◎ 優良無花粉スギ植栽面積(累計)
- ⇒ 120ha
- ◎ 林内路網密度
28.7m/ha ⇒ 36.8m/ha

- 高性能林業機械の活用による低コスト生産の推進
- 原木流通の低コスト化・効率化の推進
- 品質・性能の確かな製品生産体制の支援など木材産業の体質強化
- 新たな製品開発や安全な住宅づくりの促進
- 川上と川下の関係者が連携して取組む家づくりへの支援
- 県産材を使った住宅の建設や公共建築物等の木造化・内装木質化の促進
- 木育や県産材遊具の設置等による木材利用の普及啓発
- 木質バイオマスの技術開発とエネルギー利用の促進

- ◎ 県産材素材生産量
63千m³ ⇒ 120千m³
- ◎ 製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合
41% ⇒ 50%
- ◎ 公共建築物等の木造率
13% ⇒ 25%

- 林業就業者の人材確保と定着
- 効率的な素材生産等を担う技能者の育成
- 森林組合の経営基盤の強化と民間事業者の育成
- 農林水産公社の伐採収入の増大や金利負担の低減等による経営改善
- 県営林の造成や伐採による適正な経営
- 森林・林業に関する技術・知識の普及・指導
- 低コストで安定的な県産材の供給体制を推進する能力を備えた人材の育成
- 森林・林業再生に向けた技術の開発
- 森林ボランティアの活動への支援
- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア団体や企業等への活動の参加支援
- 県民が植樹・育樹活動等に参加する機会の提供

- ◎ 林業就業者
489人 ⇒ 500人
- ◎ 認定森林施業プランナー数(累計)
- ⇒ 24人
- ◎ 素材生産を担う現場技能者数(累計)
6人 ⇒ 90人
- ◎ 認定事業者のうち民間事業者数
3事業者 ⇒ 10事業者
- ◎ 研究の実用化件数(累計)
11件 ⇒ 30件
- ◎ 県民参加による森づくりの年間参加延べ人数
10,775人 ⇒ 13,000人

- 保安林の適正な管理と水源地域の林地の保全
- 森林病虫害に対する適切な防除の実施と被害跡地の健全な森林への誘導
- 気象災害等の予防と復旧
- 山地災害危険地区の各種災害防止対策の推進
- 災害危険箇所情報の提供
- 生活道路として活用される林道の整備
- 特用林産物生産施設整備の支援や生産指導

- ◎ 保安林指定面積(累計)
92,072ha ⇒ 93,200ha
- ◎ 山地災害危険地区着手数(累計)
1,358箇所 ⇒ 1,419箇所
- ◎ 海岸防災林整備延長
5,028m ⇒ 6,700m
- ◎ 年間きのこ生産量
3,435t ⇒ 4,150t

Ⅲ 計画実現のため、平成 30 年度に講じた主な取組み

1 豊かな森づくりに向けた主な施策

「森を活かす」ー県民参加による「多様な森づくり」の推進ー

- 「里山林」や「混交林」の整備、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及、実のなる木の育成については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し進めることとします。
 - ・ 「里山林」は「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
 - ・ 「混交林」は「みどりの森再生事業」により整備を進めます。
 - ・ カシノナガキクイムシ被害地の復旧は、森林の持つ水土保持機能など公益的機能の確保につながることから、「実のなる木の育成事業」により進めます。
 - ・ 森林資源の循環利用と花粉症対策の両立に寄与する優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を推進します。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成 30 年度に講じた施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備
 - ①市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林などを整備しました。

【実績】

- ・ 里山林整備に取り組んだ1～3年目の地区
59地区（12市町）645ha、地域住民等の参加人数 1,116人
- ・ 4年目以降の地区
85地区（13市町）832ha、地域住民等の参加人数 2,463人

- ◎ 整備事例：里山林の整備（立山町柝津地区）

〈整備前〉



〈地域住民による活動〉



〈整備後〉



- ②主要道路沿線などで、松くい虫等の被害を受けた枯損木を除去しました。

【実績】

- ・ 25地区（10市町）1,011 m³

- ③平成24年度以降海岸林を中心に松くい虫被害が激増したことから、海岸林での重点的な松くい虫被害対策を実施しました。

- 【実績】事業実施地区 83ha 10地区（6市町）
- （内訳）・ 薬剤散布 34ha 4地区（2市町）
 - ・ 樹幹注入 675本（薬剤本数）
 - 5地区（3市町）
 - ・ 伐倒駆除 465 m³ 8地区（5市町）
 - ・ 県民参加の保全活動 5地区（3市町）

被害対策重点区域内での伐倒駆除



④里山再生整備事業を実施している地域住民等に里山管理を継続してもらうため、竹材の新たな利活用方法の研修等を行いました。

【実績】

- ・とやまの竹資源ネットワークの活動
平成31年3月末現在 138 団体参加
- ・かぐや姫の里の集いの開催
竹林の手入れや安全な竹の伐採を学ぶ集いを実施
10月20日 120名参加
- ・里山リーダーセミナーの開催 県内各地5回

かぐや姫の里の集いを開催



- 水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備
手入れ不足で過密となった人工林や、竹が侵入した人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】・過密人工林整理 47.3ha 7地区（6市町）

・侵入竹林整理 17.3ha 10地区（10市町） 合計 64.6ha

- 水と緑の森づくり税を活用した実のなる木の育成
カシノナガキクイムシにより被害を受けた跡地に植栽した、ミズナラやコナラなどの実のなる木の保育を実施しました。

【実績】・下刈 15地区（8市町） 16.4ha

優良無花粉スギの植栽



- 水と緑の森づくり税を活用した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及推進
 - ・本県で開発した、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」のスギ人工林の伐採跡地への植栽や保育を支援しました。
 - ・「立山 森の輝き」の増産体制を確立するために採穂林の整備を行いました。

- ・「立山 森の輝き」を広く普及PRするため、新たにパンフレットを作成し配布するとともに、無花粉スギの生産状況に対する視察要請へ対応しました。

【実績】

- ・植栽箇所：28箇所（11市町）
- ・面積等：植栽 20.5ha（40,940本）、保育 62.3ha
- ・採穂林整備（造成）：1.94ha

- 森づくりを支える県民意識の醸成
 - ・全国植樹祭により高まった豊かな森を守り育てる県民機運を、今後の森づくりにつなげるメモリアルイベントとして「とやま森と木のフェスタ」を5月20日に「県民公園太閤山ランド」で開催しました。
 - ・児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるため、フォレストリーダーによる木工クラフト教室、樹木観察会などを「森の寺子屋」として開催しました。

【実績】

- ・「森の寺子屋」の開催 115回（参加人数 7,879人）

森の寺子屋の開催



[令和元年度に講じる施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した里山林や混交林の整備
 - ① 地域住民との協働による里山林の整備や、過密人工林などをスギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を進めます。
 - ② カシノナガキクイムシ被害跡地に植栽した実のなる木の育成や、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽・保育に支援します。
- 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進
フォレストリーダーが指導者となって、森林環境教育を推進します。

「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、県産材の利用促進に関する基本計画に基づき、県産材住宅への助成など、県産材を利用した住宅建設の促進に取り組めます。
- 県産材を使った公共施設の木造化や内装木質化、備品や遊具の導入に対し支援し、県産材の積極的なPRに努めます。

[平成 30 年度に講じた施策]

- とやまの木で家づくり支援事業
県産材を活用した住宅の新築・増改築に対して助成しました。（補助単価 5 千円/m³~2 万円/m³）

【実績】

- ・助成棟数 58 棟

- 公共施設等への県産材の利用促進
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、公共施設の木造化や、内装木質化、備品の導入を支援したほか、保育所等への県産材遊具の導入支援など、子どもたちに木の良さを感じてもらい、豊かな心を育む「木育」を推進しました。

【実績】

- ・木の香るとやまの街づくり事業
公共施設の内装木質化等 2 施設
- ・県産材こどもの城づくり事業
屋外遊具の製作・設置 3 施設
屋内遊具の製作・設置 1 施設
- ・県産材遊具の導入支援 2 施設
- ・とやま県産材遊具貸出 44 回

- 「とやま木と住まいフェア 2018」の開催
県民に木の良さや木造住宅の安全性などについて理解を深めてもらうことを目的に、県木材研究所で開催しました。

【実績】

- ・企業ブース等での木製品等PR
- ・木材研究所施設を活用した木材強度試験の体験等
- ・とやま県産材遊具とんかち大将コンクール表彰式及び作品展示
- ・木工教室等の開催

支援事業を活用した県産材住宅



公共交通機関の内装木質化



屋内遊具の設置



[令和元年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進
県産材を使用した住宅の新築又は増改築に助成します。
- 木造公共建築物等の推進
県産材を使った木造公共施設の整備等に対し助成します。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる県産材の普及啓発
県産材を用いた屋内・屋外遊具の設置や、県産材遊具の導入支援などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。
住宅、家具、建具など木材利用を一体的にPRするイベントを開催します。

「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくりを推進します。

[平成 30 年度に講じた施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
 - ・ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
 - ・登録会員のPRパネルの作成・展示
 - ・情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
 - ・安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
 - ・技術研修（森づくり塾）の開催
 - ・登録団体の交流支援など

【実績】

- ・平成 31 年 3 月末現在登録団体等
130 団体（5,432 人、内個人 43 人）、54 企業
- 県民参加の森づくりの啓発やボランティア間の交流を深めるため、「とやまの森づくりボランティアの集い」を開催しました。
- 過疎化・高齢化などで困難となった里山林の維持管理活動を支援する「森づくりサポーター」を養成し、地域住民との協働活動「里山応援隊活動」を支援しました。

【実績】 里山応援隊活動回数 6回

- 県産広葉樹苗の育成等
森づくりに使用する苗木を県民の皆さんと協働で育成し、森林ボランティア団体等に配布し、森づくり活動に活用しました。また、第 68 回全国植樹祭において、お手播きされた種子を苗木に育成しました。

【実績】

- ・エドヒガン、ヤマザクラ、コナラなどの広葉樹苗 1 万 6 千本を育成

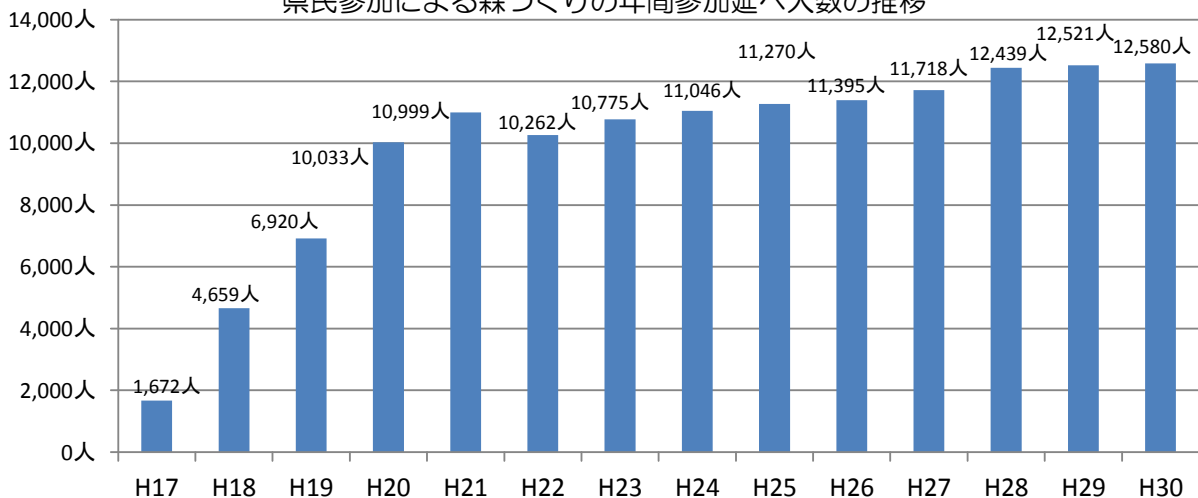
森づくりボランティアの集いを開催



里山応援隊活動



県民参加による森づくりの年間参加延べ人数の推移



[令和元年度に講じる施策]

- 森づくりサポーターの養成・登録
引き続き、森づくりサポーターを養成・登録し、里山の維持管理を一層推進します。
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページを通じて、森づくり事業の実施状況などの情報を提供します。

2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策

「森を活かす」ー持続可能な林業経営の推進ー

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“収穫する（伐採）→使う（伐採）→植える（植栽）→育てる（保育）”という「循環する森づくり」を進めます。

[平成 30 年度に講じた施策]

- 林業・木材産業成長産業化促進対策交付金等の活用
林業・木材産業成長産業化促進対策交付金及び合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策交付金等を活用し、川上では、間伐材の生産や、作業路網の整備、高性能林業機械の導入支援により持続可能な林業経営の推進に重点的に取り組みました。

- 施業集約化による木材生産の促進
施業の集約化を進めるためには森林所有者の特定や境界の明確化が前提となることから、境界や所有者が不明で整備が進まない森林において、森林境界の明確化作業を支援しました。

【実績】

- ・森林境界明確化面積…… 124ha

- 作業路網の整備や高性能林業機械の導入
県内の施業集約化に取り組む地区を対象に、施業や素材生産を効率的に行うために必要となる作業道の整備や高性能林業機械の導入を支援しました。

【実績】

- ・森林作業道開設…………… 110 km
- ・高性能林業機械の導入
フォワーダ 2台

- 森林整備の推進
森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため、人工林の間伐や広葉樹林の整備などの森林整備を進めました。

【実績】

- | | |
|---------------|---------|
| ・造林事業 | 334ha |
| ・治山事業 | 24ha |
| ・水と緑の森づくり事業 | 124ha |
| ・県単独森林整備事業等 | 45ha |
| ・間伐材生産推進事業 | 245ha |
| ・その他（森林総研造林等） | 228ha |
| 計 | 1,000ha |

- 主伐の推進による森林資源の循環利用
成熟期を迎えた人工林資源の循環利用を進めるため、県営林での主伐を推進するとともに、高齢級人工林機能強化事業により、主伐時に放置されている低質材の出材に支援しました。

【実績】

- ・県営林での主伐 13.4ha (7,731 m³)

森林所有者等による森林境界明確化作業



フォワーダによる搬出作業



森林作業道の開設



- ・高齢級人工林機能強化事業 4,569 m³
- ・主伐可能森林の集約化 35ha

[令和元年度に講じる施策]

- 施業集約化による木材生産の促進
森林境界明確化作業など施業集約化への支援を実施し、取組みの拡大を進めます。
- 作業路網の整備や高性能林業機械の導入
施業集約化に取り組む地域での作業路網の整備や高性能林業機械の導入を重点的に支援し、林業の生産性向上を目指します。
- 間伐等森林整備の推進
森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため、引き続き、間伐を中心とした森林整備を推進します。
- 主伐可能森林の集約化
県産材の安定供給体制を整備するため、小規模に分散した主伐可能森林の集約化を支援します。

「木を使う」ー県産材の安定供給体制の整備ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、県産材の利用促進に関する基本計画に基づき、「とやま県産材需給情報センター」の運営支援により、川上側の供給情報と、川中、川下側の需要情報の共有化を図るなど、需給マッチングの円滑化を進めます。

[平成30年度に講じた施策]

- 県産材の流通体制の整備
「林業成長産業化推進事業」を推進する協議会において、出材者と製材関係者との県産材安定取引協定の締結に向けた具体的な協議を進めました。
協定が締結されたもののうち、新たな木材加工施設整備が必要な施設については、「林業成長産業化推進事業」を活用して支援しました。
【実績】・木材加工流通施設整備 3箇所

木材加工流通施設への機械導入
(プレカット加工機)



[令和元年度に講じる施策]

- 「とやま県産材需給情報センター」において県産材の需給情報の共有化や、マッチングの円滑化を推進します。
- 「とやま県産材活用の手引き」を活用し、店舗や倉庫など民間の建築物における木材利用の促進を図ります。

「人を育てる」ーとやまの林業を支える担い手の確保・育成ー

- 林業カレッジの研修により期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
 - ① 路網計画（低コスト作業道を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
 - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
 - ③ 民間事業者に対する技術的指導
- 施業集約化に必要な低コスト生産を担う人材の育成を図ります。

[平成30年度に講じた施策]

- 富山県林業カレッジの研修による人材の育成
 - a 路網や森林収支計画など、総合的な広域プランを作成できる技術者を養成する研修を実施しました。
【実績】・研修期間 18日間、14名受講
 - b 作業地の状況に応じた簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設できる技術者を養成する研修を実施しました。
【実績】・研修期間3日間、7名受講

c 森林GIS等先端技術を取り入れた路網設置ができる作業道オペレーターを養成する研修を実施しました。

【実績】・研修期間5日間、3名受講

d 高性能林業機械のメンテナンス技術や、高度で熟達した機械操作技術の習得のための研修を実施しました。

【実績】・研修期間4日間、6名受講

e チェーンソーによる伐木造材作業を安全かつ効率的に実施できる技能者を育成する研修を実施しました。

【実績】・研修期間3日間、7名受講

f 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。

【実績】・研修期間9日間、6名受講

g 森林施業の集約化を進めることができる森林施業プランナーを育成する研修を実施しました。

【実績】・研修期間5日間、5名受講

h 林業への就業を支援する講習を実施しました。

【実績】・講習期間14日間、19名受講

i 林業に必要な基本的な知識・技能や、作業班長に必要な知識・技能等習得のため研修を段階的かつ体系的に実施しました。

【実績】

- ・フォレストワーカー（林業作業士）1年次～3年次
73日間 20名受講

- ・フォレストリーダー（現場管理責任者）
15日間 16名受講

● 地域でがんばる林業経営者の育成

新たな森林管理システムにおいて、森林の経営管理を担う民間林業事業体を育成する研修などを実施しました。

【実績】・研修期間7日間、54名受講

- ・中小企業診断士による経営診断 4社

富山県林業カレッジの研修〔座学〕



富山県林業カレッジの研修〔現地〕



[令和元年度に講じる施策]

● 期待される役割に応じた人材の育成

富山県林業カレッジでは、主伐にかかる経費や、立木販売による収入を算出し、林業経営に適した森林か適さない森林かを判断し、今後、必要な施業を計画・実践できる技術者の育成研修を行います。

● 必要な人員の確保

高校生等これまで林業に関心のなかった層を対象とした体験林業の開催や、林業就業に関する一元的な情報サイト「とやまの林業就業ナビ」を開設し、新規就業者の確保を進めるとともに、就業者の定着に向けたライフプランセミナーを開催します。

「山を守る」ー森林を支える山村の振興と森林の適正な管理と保全ー

[平成30年度に講じた施策]

● 林道整備の取組み

森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」、広域な森林整備の基礎となる「森林基幹道」を整備しました。

【実績】

- ・開設延長

山のみち 0.0 (1.7) km

森林基幹道 1.0 (1.0) km

計 1.0 (2.7) km () : 未完成延長

● 保安林の適正な管理

- ・公益上必要な森林について保安林に指定しました。

木材の運搬に利用される林道



- ・保安林の管理を強化するため、保安林標識の新設や交換を県内 37 箇所で行いました。

【実績】

保安林種ごとの指定面積

- ・水源かん養保安林 28.1ha
- ・土砂流出防備保安林 7.9ha
- ・潮害防備保安林 0.3ha
- 計 36.3ha

- 森林病虫害に対する適切な防除の実施

松くい虫被害が平成 24 年から海岸林を中心に増加したことから、海岸林などを被害から守るため薬剤散布や樹幹注入による予防対策と伐倒駆除による被害拡大防止対策を実施しました。

【実績】

- ・松くい虫対策

薬剤散布	4 市町	47 ha
伐倒駆除	8 市町	288 m ³
樹幹注入	5 市町	203 本 (立木本数)

- 災害に強い森林づくりの推進

台風、梅雨等の集中豪雨に起因した山地災害から県民の生命、財産を保全するため、治山施設の設置等による流木対策や荒廃山地の復旧・予防対策を実施しました。

【実績】

- ・治山事業 (富山市他 10 市町 30 箇所)

- 水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域において、荒廃地の復旧等を実施しました。

【実績】

- ・水源地域整備事業 (南砺市他 1 市 4 箇所)

- 山地災害危険地区の整備の推進

災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・復旧治山事業 (富山市他 5 市町 8 箇所)
- ・予防治山事業 (魚津市他 4 市町 5 箇所)
- ・緊急予防治山事業 (南砺市 1 箇所)
- ・地域防災対策総合治山事業 (魚津市 1 箇所)
- ・緊急総合治山事業 (黒部市 1 箇所)
- ・山地災害重点地域総合対策事業 (氷見市 2 箇所)

- 雪害防止対策の推進

なだれ防止林の維持、造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施しました。

【実績】

- ・なだれ防止林造成事業 (南砺市 4 箇所)

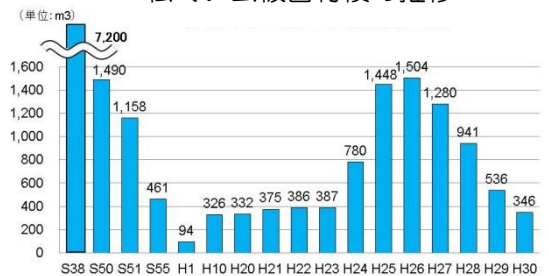
- 海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、高潮等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び海岸保安林の改良等を実施しました。

豊かな水をはぐくむ保安林



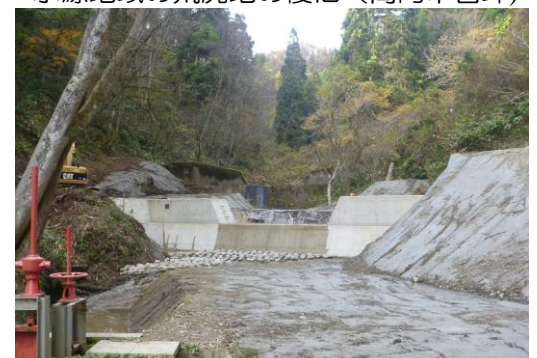
松くい虫被害材積の推移



治山施設の整備 (南砺市利賀村坂上)



水源地域の荒廃地の復旧 (高岡市岩坪)



【実績】

- ・ 海岸防災林造成事業 (入善町 1箇所)
- ・ 保安林緊急改良事業 (富山市他1市 2箇所)

海岸保安林の改良 (富山市日方江)



[令和元年度に講じる施策]

- 林道の整備
路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により、事業効果の早期実現に努めます。
- 森林病虫害に対する適切な防除の実施
松くい虫等の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除や保全すべき樹木への薬剤注入を実施するとともに、国の保安林緊急改良事業等を活用して、クロマツなどの植栽や、静砂垣の設置を行い、海岸林の再生に努めます。
- 災害に強い山づくりの推進等
 - ① 山地災害危険情報を住民へ周知し、住民の安全確保を図ります。
 - ② 治山施設の整備や森林整備により、流木被害等の山地災害の軽減に努めます。
 - ③ 保安林等調査員による巡回を定期的に行い、違法伐採・開発の未然防止に努めます。

トピックス とやま県産材需給情報センターについて

とやま県産材需給情報センターは、県産材流通の川上・川中・川下を結び、需給マッチング円滑化の中心となる組織として、平成30年4月に林業・木材関係団体により開設されました。川上側からは出材計画量やストックヤードの在庫量等の供給情報を、川中・川下側では製材工場や川下の工務店等が求める需要情報を共有し、ワンストップで提供することにより、大口需要先への安定供給、住宅分野への供給促進、木造公共建築物等非住宅分野での調達支援などをサポートしています。

■ 公共施設等に情報提供

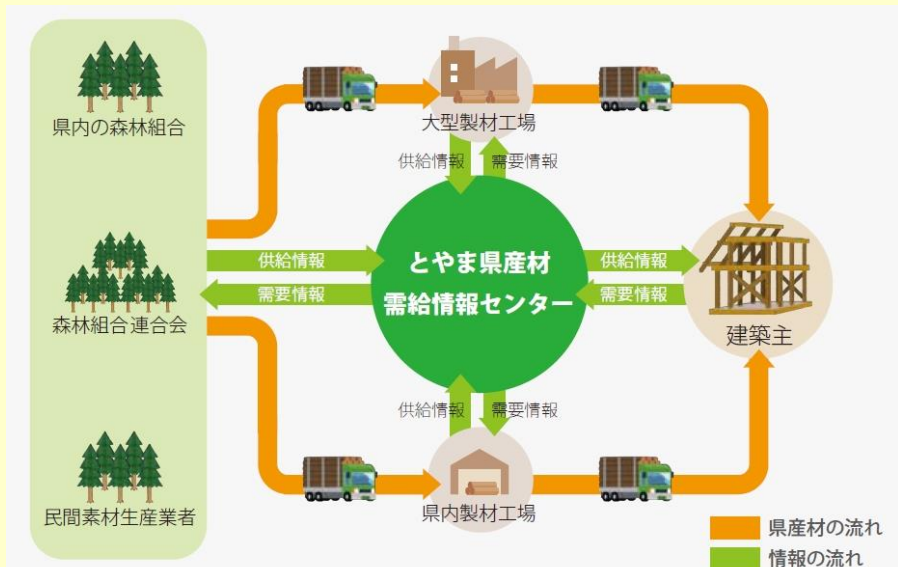
県産材を使用する木造の公共施設等を建築する際には、森林組合連合会、森林組合、木材組合連合会、素材生産業者、製材業者と建築主等による合同会議などを開催します。樹種選定、製品仕様など、意見交換を通じ、円滑に事業が進むよう、情報を提供します。

■ 安定供給を可能に

県産の原木を供給する森林組合や民間素材生産業者からの情報と、大型製材工場等が求める規格や品質などの需要情報の調整を行います。これにより、大型製材工場等に対して、県産の原木の安定的な供給を可能にします。

■ 県産材の取扱店を紹介

一般住宅に県産材の使用を希望する方に、県産製材品を取り扱う製材工場等を紹介します。県産材を使うことで、とやまの気候風土になじむ家づくりができ、健康面にも配慮された良好な居住環境が生まれます。



とやま県産材
需給情報センター

☎ 076-434-3351

FAX: 076-434-1794
〒930-2226 富山市八町6931番地

Mail: kensanzai@moriren-toyama.jp
URL: <http://moriren-toyama.jp/kensanzai/>



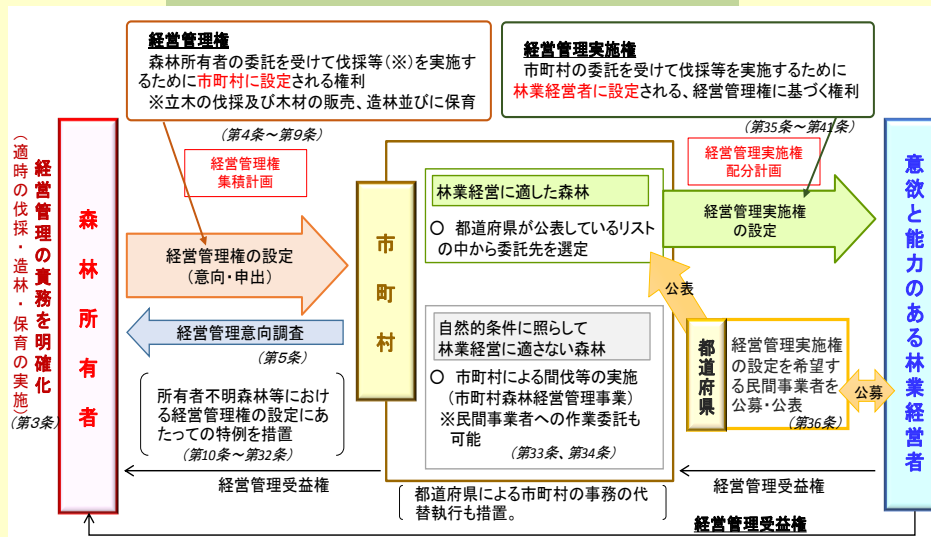
トピックス 新たな森林管理システムと森林環境税・森林環境譲与税の創設

■新たな森林管理システム

森林経営管理法(H31.4.1 施行)に基づき、市町村が主体となって、私有林人工林を対象に森林の経営管理を行う「新たな森林管理システム」が始まりました。

県では、このシステムが円滑に実施されるよう、市町村の実情に応じた支援を行う窓口として「富山県森林経営管理総合支援センター」を森林政策課に設置するとともに、本年度から県に配分される森林環境譲与税を活用して市町村業務等を支援します。

新たな森林管理システムの概要



○市町村及び都道府県の役割

《市町村》

森林所有者の意向を踏まえつつ、森林を集約し、

- ① 林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者にその経営を委託
- ② 林業経営に適さない森林は、市町村自らが間伐等の森林整備を実施

《都道府県》

意欲と能力のある林業経営者の募集、公表や、市町村に対し、森林経営管理に関する必要な助言、指導、情報の提供を行う。

■森林環境税・森林環境譲与税の概要

森林経営管理法の施行を踏まえ、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が制定(H31.3.27)されました。

○森林環境税（令和6年度から課税）[R6.1.1 施行]

納税義務者等：国内に住所を有する個人に対して課する国税納税義務者等

税 率：1,000円（年額）

賦課徴収：市町村（個人住民税と併せて実施）

○森林環境譲与税（令和元年度から譲与）[H31.4.1 施行]

譲与総額：森林環境税の収入額（全額）に相当する額（注1）

譲与団体：市町村及び都道府県

○使 途：

《市町村》 間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

《都道府県》 森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用

○譲与基準：

《市町村》 総額の9割に相当する額を私有林人工林面積(5/10)、林業就業者数(2/10)、人口(3/10)で按分

《都道府県》 総額の1割（注2）に相当する額を市町村と同様の基準で按分

（注1）令和5年度までの間は、暫定的に交付税及び譲与税配付金特別会計における借入れにより対応。借入金は、後年度の森林環境税の税収の一部をもって償還。

（注2）制度創設当初は、都道府県への譲与割合を2割とし、段階的に1割に移行。

IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と平成30年度実績

区分	指標番号	指標名	単位	基準年	実績	目標	
				H23	H30	中間目標 (H28)	終期目標 (R3)
森を活かす	1	里山林の整備面積（累計）	ha	1,296	3,116	2,600	3,900
	2	混交林の整備面積（累計）	ha	693	1,408	1,500	2,100
	3	実のなる木の植栽面積（累計）	ha	—	50	50	100
	4	森林経営計画策定面積（累計）	ha	—	34,983	25,000	35,000
	5	間伐実施面積（累計）	ha	27,219	36,730	36,000	45,000
	6	優良無花粉スギ植栽面積（累計）	ha	—	82	40	120
	7	林内路網密度	m/ha	28.7	33.8	32.9	36.8
木を使う	8	県産材素材生産量	千m ³	63	97	100	120
	9	製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合	%	41	75 (H29年次)	50	50
	10	公共建築物等の木造率	%	13	27.7	20	25
人を育てる	11	林業就業者	人	489	441	500	500
	12	認定森林施業プランナー数	人	—	37	18	24
	13	素材生産を担う現場技能者数	人	6	107	66	90
	14	認定事業体のうち民間事業体数	事業体	3	10	6	10
	15	農林水産公社分収造林事業における分収比率等契約変更件数割合	%	54.5	89.3	100	—
	16	研究の実用化件数（H19以降累計）	件	10	36	20	30
	17	県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	10,775	12,580	12,000	13,000
	18	森の寺子屋の年間開催回数	回	95	115	115	130
山を守る	19	保安林指定面積（民有林）	ha	92,072	92,536	92,700	93,200
	20	山地災害危険地区着手数	箇所	1,358	1,438	1,389	1,419
	21	なだれ危険箇所における整備箇所数	箇所	203	210	208	213
	22	海岸防災林整備延長	m	5,028	6,538	6,178	6,700
	23	年間きのこ生産量	t	3,435	4,578	3,750	4,150

V 新たな「富山県森林・林業振興計画」の概要

現在の「富山県森林・林業振興計画」が策定され、6年が経過するとともに、上位計画である県の総合計画「元気とやま創造計画」が平成30年3月に改訂されたことから、総合計画との整合を図るとともに、情勢の変化に対応するため、新たな振興計画を策定しました。

- ポイント 成熟期を迎えている森林資源の循環利用の推進「伐って、使って、植えて、育てる」
- 目標 **豊かな森づくりと魅力ある林業の構築** ■目標年次 県総合計画と同じ**2026年度**

■森づくりの基本指針

森づくりプランに基づき、「里山林」「保全林」「生産林」「混交林」に区分し、新たな森林管理システムなどを活用した、**100年先につなぐ多様な森づくり**

■目指す方向

目標の達成に向け、各種施策を実施することにより、目標年度（2026年度）における森林・林業・木材産業の目指す姿を次のとおりとします。

【森づくり】 水と緑に恵まれた県土を支える多様で災害に強い森づくりが進んでいること

森づくりプランに基づき、里山林の整備などの**多様な森づくりや森づくりを支える人づくりが実施**されるとともに、森林整備や治山施設の設置などにより、**災害に強い森林が造成**。

【林業・木材産業】

地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県産材が安定的に供給され、需要拡大が図られていること

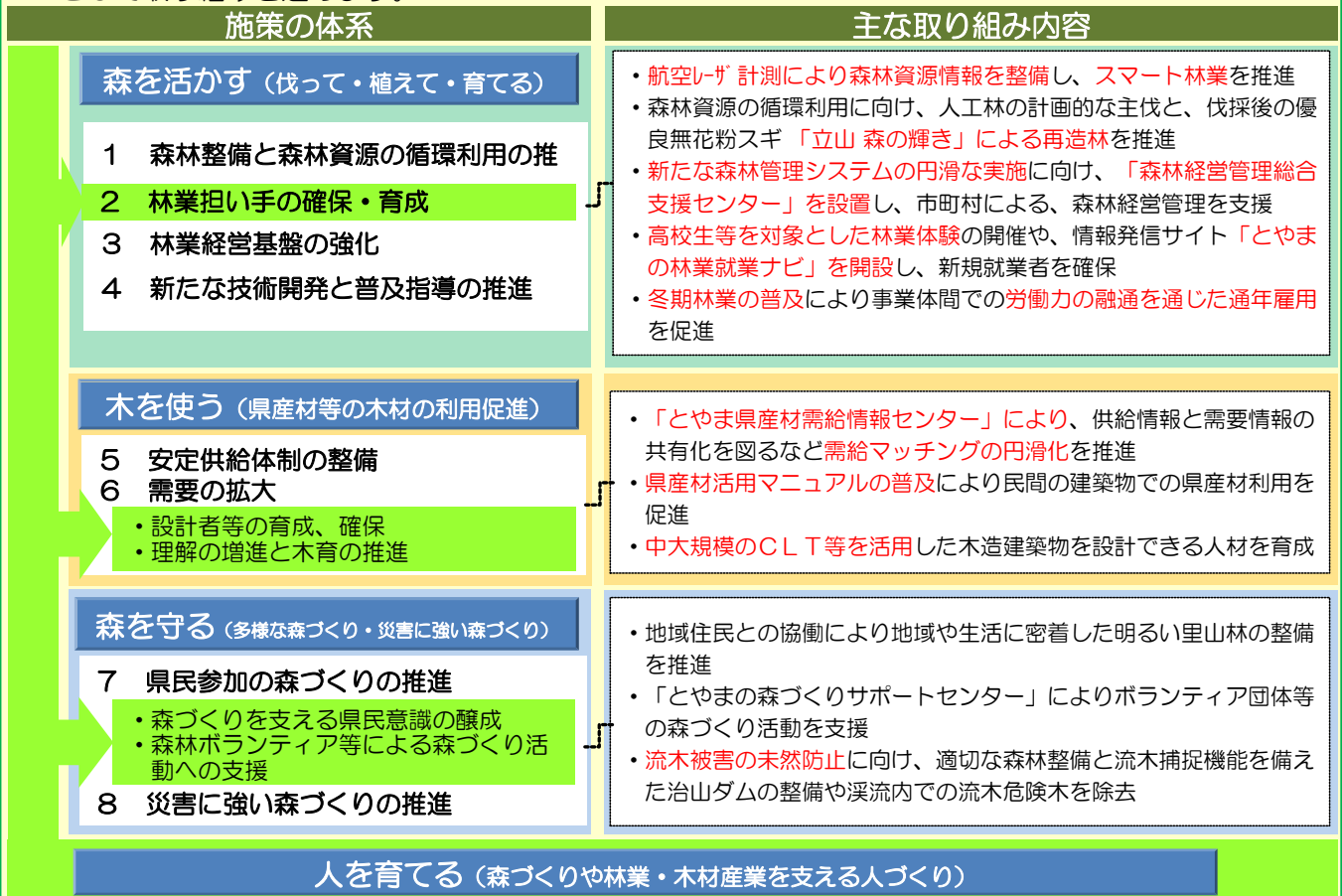
森林資源の循環利用と林業・木材産業の成長産業化に向け、新たな森林管理システムやICT等を活用したスマート林業の導入などにより**主伐面積が3倍に増加**するとともに、需給情報の共有化や需要拡大により**県産材の利用量が4割増加**。

冬期林業の普及などにより伐採作業従事者の**通年雇用が促進**され、その所得が4割増加*。

*森林組合の伐採作業の従事者を対象に県で試算

■目標実現に向けた推進施策

「森を活かす」「木を使う」「森を守る」と、これらの施策を支える**「人を育てる」**を基本施策として取り組みを進めます。



■参考指標 目標達成に向け必要となる参考指標を24設定します。（うち、新たな指標10）

主な参考指標(2016 → 2026)

- | | | |
|--|--|---|
| <p>新 主伐面積【人工林】（年間）
32ha ⇒ 100ha</p> <p>新 林業就業者*のうち、通年雇用者の割合（年間）
64% ⇒ 100%</p> | <p>◎無花粉スギ植栽面積（累計）
42ha ⇒ 500ha</p> | <p>◎県産材素材生産量（年間）
97千m³ ⇒ 140千m³</p> <p>新 流木被害防止対策着手数（累計）
一箇所 ⇒ 20箇所</p> |
|--|--|---|
- *森林組合の伐採作業の従事者
- [2021年度]

VI 平成30年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
平成30年	
4月26日	とやま県産材需給情報センター設立総会
4月27日	富山県水と緑の森づくり会議
5月20日	とやま森と木のフェスタ〔射水市 県民公園太閤山ランド〕
〃	とやまの森づくりボランティア交流会〔射水市 県民公園太閤山ランド〕
5月22日	富山県森林審議会森林保全部会
5月25日	「森林経営管理法」が成立
6月 7日	富山県県産材利用促進会議
7月 3日	富山県林業研究グループ協議会総会
7月 6日	コカ・コーラからの寄附目録受領式
7月30、31日	花とみどりの少年団体験学習〔立山町 立山青少年自然の家〕
8月 7日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
8月 8日	花とみどりの少年団リーダー研修〔富山市 呉羽青少年自然の家〕
9月 9日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔富山市 有峰ほか〕
9月21日	農林水産技術会議（森林・木材部会）
9月29日	とやまの森づくりボランティアの集い〔魚津市 魚津桃山運動公園〕
10月 3日	富山県森林審議会森づくり部会
10月 9日	農林水産技術会議（外部評価委員会）
10月13日	とやま木と住まいフェア2018〔木材研究所〕
10月19日	富山県木造公共建築物等推進会議
10月20日	かぐや姫の里の集い〔砺波市 県民公園頼成の森〕
〃	とやまの森と木のふれあい体験〔砺波市 イオンモールとなみ〕
10月21日	ウッディとやま〔富山市 総曲輪グランドプラザ〕
11月10日	飛越源流の森づくり〔岐阜県高山市〕
11月10日、11日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔高岡市 富山大学高岡キャンパス〕
11月11日	とやま農林漁業就業支援フェア〔富山市 サンフォルテ〕
12月 9日	第22回とやま木造住宅設計コンペ表彰式
12月18日	富山県森林審議会総会、森林保全部会
平成31年	
2月18日	富山県森林審議会総会
2月27日	とやま緑化推進機構H31定時総会
3月10日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔富山市 富山県総合情報センター〕
3月11日	とやまの森づくりサポートセンター懇話会〔富山市 市町村会館〕
3月27日	「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立
3月29日	新たな「富山県森林・林業振興計画」の策定